

配 布 資 料

令和6年度 第1回平塚市博物館協議会 次第

令和6年7月11日（木）午前10時
平塚市博物館特別研究室

1 開会

- ・ 会長、副会長の選任
- ・ 博物館協議会委員について

2 議事

(1) 報告事項について

- ・ 令和5年度の博物館活動状況について
- ・ 令和5年度春期特別展について
- ・ 博物館こどもフェスタ 2024 について
- ・ 情報発信（ホームページと YouTube・SNS）について

(2) 令和6年度の事業計画について

(3) その他

- ・ 事務連絡

3 閉会

以 上

令和5年度平塚市博物館の活動状況

平塚市博物館は、豊かな人間形成の一翼を担うことを目的に、過去・現在・未来にわたる「相模川流域の自然と文化」を展望し、考古・歴史・民俗・生物・地質・天文の各分野の視点を複合させ、地域に密着した展示活動・教育普及活動・調査研究活動などを行っている。これらの活動を展開していくために多くの市民の参画・協力を得ており、全国でも例のないタイプの地域総合博物館として高い評価を受け、よりよい生活をするためにによりよく地域を知る博物館として親しまれている。

1 調査研究活動の推進

市民が求める「生きた博物館」として機能するために、考古・歴史・民俗・生物・地質・天文の各分野の調査、研究活動を推進し、資料の収集・分析・整理等を進めた。

分野ごとの主な調査研究は、次のとおりである。

(1) 生物

- 神奈川県植物誌調査
- 平塚市域のカマキリ調査
- 平塚市周辺地域のキノコ類の調査
- 平塚海岸のウミガメ調査

(2) 地質

- ボーリングデータの整理
- 湘南地球科学の会での情報収集
- 相模川流域及び相模湾沿岸域を中心とした第四系地質調査
- 相模川流域及び相模湾沿岸域を中心とした地域化石資料の収集・整理
- 湘南地域の砂鉄の調査

(3) 天文

- 太陽活動の調査と資料収集
- 00A 機器の調査
- 天体写真資料の収集
- プラネタリウム機器・投影方法の調査
- プラネタリウム機器の調査
- 科学教育機能に関する調査研究
- 天文現象の調査と資料収集
- 情報システムの研究
- 流星活動の調査

(4) 歴史

- 館蔵古文書類の修復作業
- 御用留に見る地域社会の研究
- 新収蔵資料の調査
- 平塚空襲と戦時生活に関する実態調査

(5) 民俗

- 民俗資料の収集と整理
- 市内石仏調査
- 市内民俗事例の調査と記録
- 市内の年中行事に関する調査研究
- 過去の調査記録の整理

(6) 考古

- 市内外の遺跡調査及び情報収集
- 相模国府・国庁の研究
- 五領ヶ台貝塚資料の整理
- 実験考古学に関する研究

また、調査研究活動の成果はホームページ及び次の出版物を通して公表した。

- 平塚市博物館研究報告「自然と文化」第46号
- 平塚市博物館年報 第47号
- 銀河No.187、188、189、190
- 特別展ポスター・リーフレット・図録
- あなたと博物館（月刊だより）51巻1号～51巻12号

2 展示と活動の概要

「相模川流域の自然と文化」をメインテーマとする常設展示は、1階は「相模平野と人間」、2階は「地域をさぐる」、3階は「星のひろば」というサブテーマで構成している。

3階には、平塚市では唯一の科学教育施設としてプラネタリウムを設置し、天体運行の学習やさまざまな天体現象を再現して、市民が広大な宇宙を体感し科学的に理解するための投影事業を実施している。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法での5類移行により、感染対策を緩和し夏期、秋期、春期の3回の特別展と、学芸員とともに調査・研究・普及に取り組む博物館ワーキンググループの成果発表の場となる「博物館文化祭」を開催した。

夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ！～カラフルな考古資料たち～」では、発掘調査から発見されたモノからは、人類がはるか昔から多彩な色に囲まれて暮らしてきたことを示すため、平塚市内で発見された彩色のある遺物や色に関連する実物資料を展示、紹介した。展示制作の裏側を担当学芸員が語る YouTube 動画「The 反省会」は、実際の展示では伝わりにくかった展示制作の意図や展示見学の観点を解説した。新聞に取り上げられたこともあり、多くの視聴と好意的なコメントをいただいた。アンケートの感想では、「テーマの着眼点が素晴らしい。展示のコメントもおもしろくてわかりやすい」などの意見をいただいた。

秋期特別展「天象儀 100 年の軌跡」では、近代的プラネタリウム誕生から 100 周年を記念し、普段はあまり意識することがないプラネタリウムのしくみと歴史に注目してもらうとともに、当館のプラネタリウムの歩みについても紹介した。関連行事では、会期初日の 10 月 21 日がプラネタリウムの誕生日に当たるのだが、この日に国内各地のプラネタリウムやドイツとライブでつないだ一斉イベント「スペシャルライブ配信『みんなで見上げよう 100 年前の星空』」をプラネタリウムのドームに投影し開催した。このイベントは国内 35 の施設で開催され、県内では平塚市博物館だけが実施した。当日は、NHK の取材が入りニュースとして放映された。アンケート結果からは、来館者の半数が市外からで、うち 4 割が県外からとなった。自由記述の感想では「プラネタリウムの歴史やしくみなどをわかりやすく学ぶことができとても満足した」など高評価をいただいたほか、「博物館でまたプラネタリウムを観るのが楽しみになる様な展示内容だった」という感想もいただいており、プラネタリウム投影と合わせてご覧になられた方も多くいらしたようで、展示と投影の相乗効果としても良い企画であったと考えている。

春期特別展「ひらつかの古道を行く」では、平塚市域には陸上交通路と相模川・相模湾の水上交通路が交わる場所という特徴がある。奈良平安時代には相模国府が置かれ、駅路が通じていた。中原街道は江戸に本拠を移した徳川家康にとって、中原御殿と江戸城とを結ぶ最短ルート。江戸時代以降は東海道平塚宿と須賀村が両輪となり、平塚地域から秦野、伊勢原、厚木など相模国内陸部への道が放射状に整っていく。「大山道」「波多野道」「伊勢原道」「八王子道」などである。本展では市域の古道について考古学、歴史学、民俗学の各分野の視点から紹介した。春期の特別展としては入館者数、図録の売り上げとも好調で、入館者数は 1 万人を超え、図録販売数は 487 冊となった。講演会や実際の古道を歩く実踏などの関連行事にも定員を超える申し込みがあり、近年の街歩きやウォーキングブームとあわせ関心の高さが伺えた。アンケートの感想では、「古地図や絵図、写真と現在との比較がおもしろかった」や「歴史、民俗、考古の各分野がうまくコラボレーションされた展示で勉強になりました」などの意見をいただいた。

博物館文化祭は、博物館で活動する会員制ワーキンググループが、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催している。第23回は9グループが参加し、例年より会期を1週間延長して20日間の会期で開催した。展示では、7グループが展示の制作に携わり、実演は3グループが、活動報告会は4グループが成果発表を行った。

定期的に展示テーマを替えている「寄贈品コーナー」での企画展では、各分野の「新着資料展」や毎年行っている「平塚空襲」展など9回の展示替えを行った。このうち「大正関東地震と平塚の地盤」展は、平塚でも大きな被害を出した1923（大正12）年の「関東大震災」から100年の節目として、神奈川県博物館協会の連携事業の一環として開催した。

常設展示室2F情報コーナーでのミニ企画展は、各特別展のダイジェスト展示の「ポスト特別展」のほか、平塚市社会教育課主催の「平塚市指定重要文化財展」を行ったほか、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展のサテライト展示として国内のプラネタリウムを紹介した「全国プラネタリウム大集合」展など、前年度からの継続を含む5回の展示替えを行った。また、博物館学芸員資格取得のための博物館実習生による制作展示もこの情報コーナーで行った。

(1) 特別展等開催状況

- 夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ！
～カラフルな考古資料たち～」 令和5年7月21日（金）～9月3日（日）
- 秋期特別展「天象儀100年の軌跡」 10月21日（土）～令和6年1月8日（祝）
- 春期特別展「ひらつかの古道を行く」 3月20日（祝）～（5月19日（日））
- 第23回博物館文化祭
ーワーキンググループ活動展示・報告会・実演ー 令和6年2月3日（土）～2月25日（日）

特別展名称	入館者数			開館日数	行事催行数	こどもの割合	平均入館者数/1日	図録
	大人	子ども	合計					
(令和4年度) 春期特別展 「ゼロからの湘南地学入門」	(1,230)	(422)	(1,652)	(12)	(1)	(25.5%)	(138)	(64)
	4,683	2,130	6,813	38	6	31.2%	179	244
夏期特別展 「茶色ばかりじゃないんだぞ！ ～カラフルな考古資料たち～」	6,429	3,709	10,138	39	4	36.6%	260	48
秋期特別展 「天象儀（プラネタリウム）100年の軌跡」	5,751	2,064	7,815	64	7	26.4%	122	187
第23回博物館文化祭	2,074	665	2,739	20	4	24.3%	136	—
春期特別展 「ひらつかの古道を行く」	1,326	361	1,687	11	2	21.4%	153	145
	(5,968)	(2,787)	(8,755)	(42)	(7)	(31.8%)	(208)	(342)

() 内は前年度、または次年度実績

3 博物館事業（教育普及活動）の充実

平塚市博物館は、教育普及活動に重きをおいた地域博物館活動を実践し、特別展示室・講堂・科学教室・プラネタリウム室等を活用して事業を展開するとともに、野外教育活動・広報・出版活動等にも力をいれている。会員制の行事は参加市民にとっては知識・技術獲得の機会であり、博物館にとっては調査研究収集活動に市民の参加をいただく機会となっている。

各種事業の実施状況については「(4) 主な教育普及活動の開催回数と参加者数」の表のとおりである。新型コロナウイルス感染症の感染症法5類移行を受け感染対策の緩和を進め、会場の定員枠を従前に戻すとともに自由参加行事を拡大するなどした結果、実施回数、参加者数とも大きく増加し、年間会員制の博物館ワーキンググループ活動と各回募集の講座や体験学習は、年間389回開催し、6,611人の参加者を得た。

プラネタリウムの投影では令和5年3月から通常定員の70人とした。特別投影では、特別展とも関連する「ひらはくオールスターズ」を新たに開始したほか、「シアトリカルプラネタリウム」などを実施した。一般投影は、フリートークプラネタリウムを中心に様々なテーマのオリジナルプログラムを、1回約50分間で解説・投影を行っている。団体投影については、幼児団体投影は5月から、小学校4年生対象の学習投影は9月から、新型コロナウイルス対策の緩和に伴って市外の保育園・幼稚園・小学校の利用も再開し、合わせて82回投影を実施した。

(1) 寄贈品コーナー展示状況

- 「#竹のある暮らし」 (令和5年3月2日(木))～4月2日(日)
- 「新着資料展・自然分野」 4月6日(木)～5月7日(日)
- 「新着資料展・歴史・民俗」 5月11日(木)～6月4日(日)
- 「平塚空襲展」 6月17日(土)～7月23日(日)
- 「鳥とりどり」 7月27日(木)～8月27日(日)
- 「大正関東地震と平塚の地盤」 8月31日(木)～10月15日(日)
- 「ひらつかの家康伝説」 10月19日(木)～12月10日(日)
- 「むかしの冬の暮らし」 12月14日(木)～令和6年1月21日(日)
- 「その中に道はあったのかー大磯丘陵横断記ー」 1月25日(木)～2月25日(日)
- 「流星の故郷を探して～シチズンサイエンス～」 3月1日(金)～(4月7日(日))

(2) 情報コーナー展示状況

- 「生き物調査から見る生物多様性」展 (令和5年1月13日(金))
(平塚市環境保全課) ～5月14日(日)
- 平塚市指定重要文化財展(平塚市社会教育課) 5月20日(土)～6月4日(日)
- ポスト特別展「ゼロからの湘南地学入門」 6月17日(土)～9月3日(日)
- 博物館実習生展示「めでたいをさがそう！」 9月15日(金)～9月27日(水)
- 「全国プラネタリウム大集合」 9月30日(土)～令和6年1月8日(月)
- ポスト特別展「天象儀100年の軌跡
～プラネタリウムのしくみ編～」 1月18日(木)～(4月7日(日))

(3) プラネタリウム投影状況

一般(向け)投影

- 母なる星・太陽 (令和5年3月4日(土))～5月7日(日)
- 見たか家康～家康の生涯を彩る天変 5月13日(土)～7月16日(日)
- 流星群を見よう 7月22日(土)～8月27日(日)
- 国際宇宙ステーションに潜入！ 9月2日(土)～10月29日(日)

- プラネタリウム大解剖 11月4日(土)～令和6年1月7日(日)
- 2024年の天文現象 1月13日(土)～2月25日(日)
- 見えないブラックホールを見る 3月2日(土)～(5月5日(日))
- 幼児(向け)投影
- 星見るおじさん (令和4年9月3日(土))～
令和5年4月1日(土)
- おほしさまだいすき!サンとムーン 4月8日(土)～8月26日(土)
- 2061約束の星空 9月2日(土)～12月23日(土)
- クルムカとマジックロケット 令和6年1月6日(土)～3月30日(土)

(4) 主な教育普及活動の開催回数と参加者数(空欄は活動無し)

ワーキンググループ活動(年間会員制)

活動内容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1 展示解説ボランティアの会	回数	2	1	1	2	1	1	2	2	2	1	2	2	19
	人数	31	14	11	25	13	13	25	27	27	15	29	33	263
2 生き物ズームプロジェクト	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
	人数	5	4	3	3	5	3	2	2	4	3			34
3 平塚の古代を学ぶ会	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	人数	16	15	15	14	12	10	11	14	17	11	8	16	159
4 古代生活実験室	回数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
	人数	14	9	9	20	16	4	10	13	12	11	8	11	137
5 東国史跡踏査団	回数	1		1		1	1		1	1		1	1	8
	人数	9		10		7	9		9	10		9	12	75
6 古文書講話会	回数	4	3	2	4	4	4	4	6	5	3	3	5	47
	人数	69	57	28	72	60	54	66	117	52	57	47	70	749
7 平塚の空襲と戦災を記録する会	回数	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	13
	人数	6	7	7	6	5	14	7	8	5	5	5	5	80
8 裏打ちの会	回数	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	11
	人数	8	9	9	9		10	10	10	10	10	10	7	102
9 地域史研究ゼミ	回数	1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	10
	人数	5	5		4	4		4	3	4	4	4	4	41
10 石仏を調べる会	回数	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	22
	人数	23	22	18	23	18	21	21	9	10	18	20	19	222
11 民俗探訪会	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	人数	20	18	15	20	11	17	19	15	18	20	21	17	211
12 祭りばやし研究会	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	人数	18	15	18	19	16	24	21	17	20	18	23	19	228
13 聞き書きの会	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	22
	人数	10	10	7	12	11	12	11	12	6	6	10	9	116
14 地球科学野外ゼミ	回数	1	1	2	1		2	4	1	1	2	1	1	17
	人数	42	44	61	35		10	64	28	33	42	40	38	437
15 天体観察会	回数	1	1	1	1		1	1	1	1	2		1	11
	人数	45	27	21	31		31	26	27	23	41		33	305
16 天体観察会 太陽分科会	回数		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	人数		8		8	10	9	12	10	10	10	7	9	93
17 天体観察会 プラネタリウム分科会	回数		1		1					1	1			4
	人数		10		10					2	8			30
18 天体観察会 太陽分科会初心者	回数		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	10
	人数		10	8	12		9	8	7	13	13	12	13	105
19 天体観察会 流星分科会	回数	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	人数	18	15		20	19	17	16	19	36	14	17	17	208
20 天体観察会 天文学分科会	回数	1	1	1	1	1			1	1	1		1	9
	人数	20	16	16	16	15			11	13	10		18	135

募集行事（事前申込み、当日整理券、自由参加）

	分野	実施種別	活動内容	回数	合計
1	民 俗	自由参加	ろばたばなし	12回	151人
2		自由参加	学芸員が語る相模の家の暮らし	4回	33人
3		事前申込	館長の民俗学入門	4回	102人
4		事前申込	石仏めぐり	1回	5人
5		事前申込	体験学習 お飾りをつくろう	1回	33人
6	考 古	事前申込	考古学入門講座	3回	92人
7		事前申込	カラフルな勾玉をつくろう	1回	87人
8		事前申込	体験学習 昔の方法で火を起こそう	1回	94人
9	歴 史	事前申込	平塚郷土史入門講座	3回	131人
10	生 物	事前申込	自然教室	4回	37人
11		事前申込	キノコの観察会	1回	20人
12		事前申込	体験学習 とりの手羽先骨格標本を作ろう	2回	43人
13		事前申込	みんなで調べよう 平塚のカマキリ 野外ガイダンス	2回	57人
14		自由参加	鳥のおめんを作ろう	1回	70人
15	地 質	事前申込	自然観察入門講座 相模川流域ジオツアー	1回	19人
16		事前申込	体験学習 サメの歯化石のレプリカをつくろう	2回	38人
17		事前申込	地球科学入門講座	2回	106人
18		自由参加	体験学習 ナウマンゾウのペーパークラフトをつくろう	1回	31人
19	天 文	事前申込	プラネタリウム公演 雑貨団	2回	75人
20		事前申込	星を見る会	6回	363人
21		事前申込	天文学入門講座	6回	174人
22		事前申込	最新天文学講座	2回	58人
23		事前申込	プラネタリウムを操作してみよう	2回	27人
24		事前申込	体験！宇宙飛行士選抜試験	1回	17人
25		事前申込	何にもしないで夕陽を見よう	2回	26人
26		事前申込	色の不思議を探れ！	1回	22人
27		当日 整理券	体験学習 偏光万華鏡を作ろう	4回	59人
28		総 合	各 種	博物館こどもフェスタ	2回
29	事前申込		平塚学入門講座	7回	70人
30	自由参加		体験学習 つくってあそぼう！科学のフシギ	1回	81人

(5) 平塚市博物館ホームページコンテンツの拡充と SNS 発信

博物館ホームページはコロナ禍をきっかけにコンテンツの拡大・充実を図り、YouTube 動画シリーズでは天文分野の「だいたい3分でわかる 88 星座図鑑」と博物館の収蔵資料を取り上げる「博物館モノ語り」シリーズを継続して公開・追加した。独自運用する博物館ホームページは、令和5年度では34万回のアクセスがあった。YouTube 動画は年間では30本の新作動画を公開し、年間の総再生数は昨年度には及ばなかったものの、8万回を超える再生数を得た。チャンネル登録者数は515人増の2,485名となった。また、博物館日記は更新頻度を充実させ日常の博物館活動を通して、リアルタイムの情報発信に努めた。平塚市公式LINE、博物館公式Twitterは、それぞれの特性に合わせ情報発信の多様化を進めた。

平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総訪問数
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681	30,783	352,484
2023	26,548	36,108	27,282	31,296	36,062	30,517	37,744	25,131	20,710	25,642	22,100	24,558	343,698

※ (斜体はデータ消失のため、該当データを除く2015～22の平均値で補完)

平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube 視聴回数

年度	視聴数 (2022年3月まで187,793)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総視聴数
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805	6,710	89,583
2023	9,125	13,648	8,915	7,772	7,719	6,317	7,653	3,824	3,058	4,392	3,714	4,623	80,760

4 平塚市博物館協議会

博物館の機能・運営等に関し、広く学識経験者や教育関係者、市民等の意見を反映させ、博物館の充実と発展をはかるため、平塚市博物館協議会を設置している。現在6人の委員が任命されており、令和5年度は3回の会議を開催し、館が抱える課題等について協議した。

5 博物館利用状況

月	区分	入館者数	プラネタリウム	
			観覧者数	投影回数
4		4,615	695	25
5		3,870	1,076	32
6		2,610	793	25
7		4,623	1,164	34
8		7,014	1,561	34
9		3,647	938	24
10		3,141	820	27
11		2,907	591	22
12		2,789	946	32
1		2,984	816	27
2		3,214	632	23
3		3,328	634	27
計		44,742	10,666	332

※入館者数は、館外及び野外で開催した行事の参加者も含む。

令和5年度春期特別展「ひらつかの古道に行く」開催報告

会 期 2024(令和6)年3月20日(水・祝)～5月19日(日) 開催日数 53日
休館日:月曜日(4月29日と5月6日は開館、翌火曜日が休館)

主 旨 かつて平塚市域に存在した道、あるいは現在でも使われている古道を紹介するとともに、考古・歴史・民俗の諸分野の視点から道を通して地域の歴史や暮らしを考えるきっかけを提供する。

展 示 構 成 1章「古道」とは？
・古道を考える ・相模と平塚の古道 ・考古学から見る「道」 ・「道」を民俗学・文献史学から見る ・古代の駅路、宿と助郷
2章 ひらつかの古道に行く
・古代東海道駅路 ・東海道 ・中原街道 ・波多野道 ・八王子道 ・大山道 ・『新編相模風土記稿』にみる平塚周辺の道路呼称
3章 道を行き交う人々
・道がもたらすもの ・道と暮らし ・更級日記にみる古代の旅 ・道中日記にみる近世の旅 ・信仰の旅 ・巡礼 ・道標

入 館 者	入館者数			開館日数	こどもの割合	平均入館者数/1日
	大人	こども	合計			
3月	1,326	361	1,687	11	21.4%	153
4月	3,643	2,068	5,711	25	36.2%	228
5月	2,325	719	3,044	17	23.6%	179
期間計	7,294	3,148	10,442	53	30.1%	197

(参 考)	入館者数	合計	開館日数	こどもの割合	平均入館者数/1日
R5 秋(天文)	5,751	7,815	64	26.4%	122
R5 夏(考古)	6,429	10,138	39	36.6%	260
R4 春(地質)	5,913	8,465	50	30.1%	169
R4 秋(天文・民俗)	5,846	8,054	55	27.4%	146

関 連 行 事 特別展記念講演会 会場:博物館講堂 時間:10時～11時30分
3月23日(土) 第1回「道を考える—歴史を動かすもの—」
講師:栗山雄揮(当館市史編さん担当・前館長) (参加44人)
4月6日(土) 第2回「土の中の道を探る—古代東海道を中心に—」
講師:新宮崇弘(当館学芸員) (参加57人)
4月13日(土) 第3回「街道を行き交う人々から歴史を読む」
講師:早田旅人(当館学芸員) (参加55人)
5月11日(土) 第4回「信仰の道を歩く—大山道を中心に—」
講師:福田麻友子(当館学芸員) (参加55人)
5月18日(土) 第5回「更級日記の旅—古代の交通制度を考える—」
講師:栗山雄揮(当館市史編さん担当・前館長) (参加59人)

実踏!ひらつかの古道 時間:10時～13時
4月7日(日) 第1回「四之宮・田村の古道に行く」 (参加18人)

5月12日(日) 第2回「中原・南原の古道に行く」

(参加18人)

特別展展示解説会

3月30日(土) 第1回 10時~11時

(参加25人)

5月11日(土) 第2回 15時~16時

(参加22人)

印刷物 図録「ひらつかの古道に行く」

A4判 120頁 カラー 1500部 頒布価格 ¥600

開催期間内頒布部数:487部

(参考)R4秋:190部、R4春:308部、R5夏:48部、R5秋:187部

ポスター B3判 カラー 300部

リーフレット A4判 カラー 5000部

アンケートの結果

回収枚数:76枚

回答者の住所 平塚市内39人、平塚市外神奈川県内27人、神奈川県外関東地方9人
(n=75)

回答者性別 男52人、女22人、
(n=74)

回答者年齢	~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
(n=75)	6人	3人	7人	7人	12人	18人	17人	5人

※ 19歳以下内訳:小学生4、中学生1、高校生0、大学生1

情報の入手先 (複数回答可)	広報 ひらつか	博物館 HP	あなたと 博物館	ポスター リーフレット	新聞等	口コミ	SNS	その他
(n=86)	25	19	4	11	6	2	6	13

おもしろさ 興味ぶかさ	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	57人	17人	2人	0人	0人
	75%	22.4%	2.6%	0%	0%

難し さ	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	42人	22人	9人	3人	0人
	55.3%	28.9%	11.8%	3.9%	0%

総合評 価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	56人	14人	6人	0人	0人
	73.7%	18.4%	7.9%	0%	0%

ご意見・ご感想 （一部抜粋）

- ・ いつも通っている道が実はかつては大きな意味を持っていたということがよく分かりました。5/12のまち歩きにも参加しましたが、ちょうど高校時代の通学路で、あの坂道にはこういう意味があったのかということや、クラックにも意味があったことも初めて知りました。高校の前を通る道も豊田道という古道だったのですね。初めて知ることばかりで、とても良い展示でした。(30代・市内・男)
- ・ 古代の駆使の意外な高速移動、須賀のボディの商圏の広さ、1ヶ月以上かけた伊勢・金毘羅参りの旅行など、今よりパワーとダイナミズムを感じてしまいます。かつての木や森の多さも羨ましくなります。身分社会でも不都合があれば助郷組合を結成して対抗したりと、昔の人を身近に感じました。(40代・市内・女)
- ・ 中原街道にとっても興味があり、歩いてみたいと思っています。平塚市に転居してきて、初めてお酢街道とも呼ばれていることを知りました。去年は県の東海道スタンプラリーにも参加し、平塚市内の本陣等をめぐりました。今回の展示は写真も多く分かりやすかったです。(60代・市内・女)
- ・ 誤解が2ヵ所ありました。にしとみは近代以降の地名、近世の西村(遊行寺の西)が美称とされていた(町内に「邨」は変だということで)足上足下郡の山を中世で西富と別称していますよ。江島の祭神が宗像三女神に変わるのも明治以降、前近代は弁天が本尊祭神です。(60代・市外県内・女)
- ・ 古道パズル商品化してもよいかも。(完成品でなく紙六枚でも切りとってくみあわせるのが)おもしろくたのしみそう。(30代・市内・女)
- ・ 歴史・民俗・考古の各分野がうまくコラボレーションされた展示で勉強になりました。いつも地域を再発見できる良い展示をありがとうございます。(40代・市内・男)
- ・ 帰省のついでに寄りましたが、なつかしく、とても興味深かったです。住んでいた所や寺や神社などを古地図で探したのがワイワイできて楽しかった。家族と待ち合わせて来ました。(30代・県外関東地方・女)
- ・ 説明もていねいで大変分かりやすかったです。親切な方ばかりでとても助かりました。ありがとうございます。(30代・市内・女)
- ・ 第一章のさいごに「宿と助郷」「古代の古道」があるのは少し違和感があった。なぜここに？現地をしっている人にはとても興味深い内容。趣旨にあるとおり、古道を歩きたくなると思う。行衣の背中に「大瀧」とある理由が分からなかった→図録を見ればわかる。とてもわかりやすい展示でした。パネル・キャプションも読みやすい。(50代・県外関東地方・男)
- ・ なるほどと思うものばかり、1時間も滞在、楽しめた。(30代・市外県内・男)
- ・ 平塚の道の成立がとても詳しく紹介されていて、大変勉強になりました。当方、東京大田区の出身で中原街道は良く使っておりましたが、中原が平塚の地名であることは今日まで全く知りませんでした。とても丁寧な展示を大変ありがとうございます。(50代・県外関東地方)
- ・ もう一回来場してじっくり見たい内容だ(80代以上・市内・男)
- ・ 旧東海道・中原街道・大山道をすでに歩き、今回の展示を一目見ようと浦賀から出掛けてきました。よく現調されていて苦労も多かったことと思います。冊子も参考に購入しました。感謝です。(70代・市外県内・男)
- ・ ダイナミックな展示で、現在の写真が美しく、楽しみながら信仰や生活を想像出来ました。道も道の名も、いろいろ変わる一納得です。(扇松海岸通りのところで「海沿いを通る道」を“海岸通り”と呼ぶという点は、どうも東西の道という感じがして、「海に向かう道」の方がピンときます)(70代・市外県内・女)
- ・ 授業で学んだ所が展じされていて、すごくわかりやすかった。(中学生・市内・女)
- ・ コインロッカー、所々に座れるイス等あった方がいい。現金以外の決済扱いについて受付でできるようにしてほしい(60代・市内・女)
- ・ とても良いと感じる。博物館全体すばらしい物なので、もっとPRをしてほしい。数年前に転入しましたが前住んでいた所には無かった。美術館及びレストランとコラボしている？(60代・市内・男)
- ・ 場所が「せまい」「ひろい」場所での展示をお願いします。(60代・市内・男)
- ・ 古地図を見たりするのがとても好きなので、非常に面白かったです。平塚は昔から交通のハブとして機能していたことが分かりました(30代・市内・男)
- ・ 平塚八幡の大門通りのにぎわい(写真)びっくりしました。各道の解説、勉強になりました、図録買って行きます。(60代・市内・男)

特別展記念講演会 アンケートの結果

回答者の住所	回答数	平塚市内	市外県内	県外
第1回「道を考える―歴史を動かすもの―」	35	30	5	0
第2回「土の中の道を探る―古代東海道駅路を中心に―」	42	37	5	0
第3回「街道を歩き交う人々から歴史を読む」	46	33	11	2
第4回「信仰の道を歩く―大山を中心に―」	40	40	0	0
第5回「更級日記の旅―古代の交通制度を考える―」	52	52	0	0
合計	215人	192人	21人	2人

※ 申込み多数の場合は、市内在住者を優先。

回答者性別	回答数	男性	女性
第1回「道を考える―歴史を動かすもの―」	35	19	16
第2回「土の中の道を探る―古代東海道駅路を中心に―」	40	28	12
第3回「街道を歩き交う人々から歴史を読む」	44	33	11
第4回「信仰の道を歩く―大山を中心に―」	39	24	15
第5回「更級日記の旅―古代の交通制度を考える―」	47	20	27
合計	205人	124人	81人

回答者の年齢	回答数	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
第1回	37	0	1	1	0	5	10	18	2
第2回	44	0	0	0	0	9	9	20	6
第3回	45	0	0	1	1	5	7	28	3
第4回	40	0	1	0	0	6	8	21	4
第5回	51	0	1	0	0	7	15	19	9
合計	217人	0人	3人	2人	1人	32人	49人	106人	24人

情報の入手先 (複数回答可)	回答数	広報 ひらつか	博物館 HP	あなたと 博物館	ポスター リーフレット	新聞等	口コミ	その他
第1回	41	16	13	9	0	0	1	2
第2回	51	17	20	9	2	0	0	3
第3回	54	16	20	11	5	1	0	1
第4回	51	22	14	8	5	0	2	0
第5回	61	20	17	12	8	0	2	2
合計	258人	91人 (35.3%)	84人 (32.6%)	49人 (19.0%)	20人 (7.8%)	1人 (0.4%)	5人 (1.9%)	8人 (3.1%)

おもしろさ・ 興味ぶかさ	回答数	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない
第1回	32	24人(75.0%)	6人(18.7%)	2人(6.3%)	0人(0%)
第2回	46	27人(58.7%)	15人(32.6%)	3人(6.5%)	1人(2.2%)
第3回	42	35人(83.3%)	7人(16.7%)	0人(0%)	0人(0%)
第4回	38	19人(50.0%)	15人(39.4%)	3人(7.8%)	1人(2.6%)
第5回	49	42人(85.7%)	6人(12.2%)	1人(2.0%)	0人(0%)
合計	207人	147人(71.0%)	49人(23.7%)	9人(4.3%)	2人(0.9%)

分かりやすさ	回答数	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい
第1回	31	17人(54.8%)	12人(38.7%)	2人(6.4%)	0人(0%)
第2回	45	17人(37.8%)	19人(42.2%)	8人(17.8%)	1人(2.2%)
第3回	40	30人(75.0%)	8人(20.2%)	2人(5.0%)	0人(0%)
第4回	37	17人(45.9%)	13人(35.1%)	7人(18.9%)	0人(0%)
第5回	49	36人(73.5%)	10人(20.4%)	0人(0%)	3人(6.1%)
合計	202人	117人(57.9%)	62人(30.7%)	19人(9.4%)	4人(2.0%)

ご意見・ご感想（一部抜粋）

《第1回》

- ・ 「道」というテーマを様々な分野や時代という視点から考えるという、あまりこれまでになかった特別展で、興味深く拝見しました。人の営みが続いてきたと考えると「道」に限ったことではないのかもしれませんが…。“道は生き物”は名言だと思います。年代や使う人の意識で名称が使われることが間違いないということとはとても納得できました。半面、冒頭の郷土史事典に関しては公的に記載されたことは良くなかったということも思えますが、表現(断言したのが)良くなかったということでしょうか。資料としては？ですが、タタキ台としての意味はあったということなのかな？とも思いました。(50代・市内・女)
- ・ 大変面白かったです。ありがとうございます。聞いてみるとなるほどと納得することが多かった。古い時代を知ることは難しい、よく調べていると思う。学校の歴史でも誰がどうしたではなく、どう生活が変化したのかというような事柄を学ぶべきでは、時代を動かしたのはヒーローではないということ。(70代・市内・男)
- ・ 昔の資料(〇〇風土記など)は全く知識がないのでわかりにくかったが、講義はたいへん面白かったです。プロジェクターで映した資料はPDFデータ(博物館のHP)で見られるとありがたいです。(70代・市内・男)
- ・ 「道」は「生きもの」との言葉に納得しました。固定した見方にとらわれずに考えてゆくためのヒントがたくさんありました。(70代・市内・女)

《第2回》

- ・ イラストをまじらせたり、なんとか私達に解らせようとした努力がみられ、話もいきいきとして興味を持たせて下さいました。(80代・市内・女)
- ・ 自虐ネタもからめた先生のお話、とてもおもしろかった。(60代・女)
- ・ 考古学や歴史学初心者(平塚歴も浅い)私には少しわかりづらい話もありましたが、興味深かったです。現在の平塚の地図をスクリーンに出していただけたらと思いました。ありがとうございます。(50代・市内・女)
- ・ 特別展を拝見していてわからなかった見方(①、②)がわかってスッキリしました。①東中原E-4(いくつか溝がある中で、どの溝の説明なのか、わからなかった)②波板状(溝と垂直になっているのが疑問)②はスライドのような補足の色や文字を、特別展のパネル写真にも付けていただくと、見学者の方々もわかり易いかと思います。赤いポインターの動きが早くて追いきれない時があったので(私だけかと思いますが)、サイズを変えられたり(大きめとか)、矢印とかになると、より説明とつながってわかり易かったと感じました。硬化面の「下」にあるという表現がきき間違いかと思いますが、「？」でした。(50代・市内・女)

《第3回》

- ・ いつもとは違う切り口のお話で面白かったです。地震の話や手討事件の話など初耳でしたのでよかったです。地質(地震)や民俗(口伝)など他分野も多少知っているより深く味わうことが出来ると思います。コラボの講演などもあるといいと思いました。(50代・市内・男性)
- ・ 三つの話題を1時間に納めるのは無理があったように思う。家康の時代をそれぞれ分けてほり下げて解説すると、もっと面白いと思いました。(60代・市内・男)
- ・ 自分の思っていた内容と違う講演だったが、とてもおもしろくきけた。勉強になった(50代・市内・女)
- ・ こんなに歴史がある所とは知らず、中原に住んで約50年、知らない事ばかりでした。長男は中原小学校、家康が歩いた同じ所を今、私達も歩いているのかと思うだけでワクワクします。地震の事もふくめ、過去を知る事は未来につながると思います。(70代・市内・女)
- ・ 街道を使うさまさまの立場からの視点をお話いただいて、大変おもしろかった。図録も充実していて関連行事も豊富なので、一度の機会に幾重もの満足をいただきました(60代・県外・男)

《第4回》

- ・ 平塚で生まれ、ずっとこの地で過ごし、仕事も平塚、子供も平塚にいる。でも知らないことだらけ。信仰の道のできた経路と現在との比較が楽しかったです。(70代・市内・女)
- ・ “信仰の道”というので内容に期待したが、残念でした(60代・市内・女)
- ・ 信仰というワードを見て面白そうだなと思い参加しました。大山についてはなにも知らずただの山だと思っていたので信仰という点で大切なものだったことを知っておどろきました。今は歩いて山など寺など行くことはなくバスや電車、車などを使って近くまで行くようになってしまったため、道標の存在を見たことはなく、便利な世の中になればなるほど道標などのものを知る機会が失われてしまうのだなと思いました。なので今回のような講演会にまた参加して知っていければいいなと思います。自分でも色々調べてみようと思います。ありがとうございました。(20代・市内・女)
- ・ 道は物理的な工作物の道ではあるが、人の願いや想いがそこにあると考えると興味が深まります。自分の足で歩いてみるのがおもしろそうです。(60代・市内・男)

《第5回》

- ・ “更級日記好き+土地勘あり”にはドンピシャのテーマ。来聴してよかった！ 駅鈴の話と更級日記がどう結びつくのかわかりにくい。話が少々長すぎでは？ 和式漢文の引用、返り点、訓文もなく、しかも横書。読みづらい。マニアックすぎでは？ にしとみ、すみだ川等の地名の考察、お見事！(市内・女)
- ・ 学生時代に学んだ更級日記、とても面白かったです。駅路の維持、管理が大変だったということも改めて感じました。昔の人は、それにしても良く歩いたものですね。(70代・女)
- ・ 今回、連続した講演会で内容も充実しており、大変楽しく拝聴いたしました。企画から大変とは思いますが、また、時折このようなテーマで開催頂けると嬉しいです。よろしく願いいたします。(50代・市内・女)
- ・ 最終の講演会となりましたが、点と点を文化、暮らし(経済)、政治を結ぶ古道をテーマとして、講演会の企画ありがとうございました。第1回～第5回まで様々な視点での道の有意義な役割とその変遷が理解できました。(70代・市内・男)
- ・ 国司の制度が詳細で面白かったです。文学部の授業よりも興味深く、学生時代にお聞きしたかったです。内容が濃かったので再度お願いします。(50代・市内・男)

博物館子どもフェスタ 2024 開催結果報告

開催日時：令和6（2024）年4月27日（土）・28（日）

昨年に続き2日間にわたって開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延以前と同様の自由参加型行事を中心としたプログラムで実施した。

1. イベント参加者数

イベント名	開催時間	参加	会場	担当	参加者 (大人)	参加者 (小人)	協力者	合計
27日								
博物館ぶたいうら たんけんツアー	9:30～、13:00～	事前 申込	館内	早田	8	13	0	21
プラネタリウム 子どもフェスタスペシャル	11:00～、14:00～、 15:30～	当日 整理券	プラネタリウム	塚田	82	61	4	147
はくぶつかんクイズ	10:00～、13:00～	自由	常設展示室	川端	(こども のみカウント)	67	10	77
むかしの子ども遊び	10:00～12:00	自由	屋外展示場 相模の家 講堂	福田	49	59	16	124
古生物 ペーパークラフトづくり	13:30～16:00	自由	講堂	野崎	33	30	1	64
おはやし演奏と体験	14:30～15:30	自由	中庭	福田	21	16	11	48
ろばたばなし	15:15～15:45	自由	相模の家	福田	9	5	5	19
小 計					202	251	47	500
28日								
博物館ぶたいうら たんけんツアー	9:30～、13:00～	事前 申込	館内	川端 澤村	12	15	0	27
プラネタリウム 子どもフェスタスペシャル	11:00～、14:00～、 15:30～	当日 整理券	プラネタリウム	塚田	105	105	4	214
はくぶつかんクイズ	10:00～、13:00～	自由	常設展示室	川端	(こども のみカウント)	83	11	94
鳥かおパズルでクイズ/ パズルで古道を行ってみよう	10:00～、13:00～	自由	講堂	松本 新宮	132	144	2	278
火起こし体験	10:00～12:00	自由	屋外展示場	新宮 川端	(こども のみカウント)	122	12	134
太陽黒点を見よう	10:00～、13:00～	自由	屋上	藤井	172	200	6	378
水ロケットを打ち上げよう	10:00～、13:00～	自由	屋上	藤井	172	200	4	376
古代生活体験	13:00～16:00	自由	科学教室	新宮	(こども のみカウント)	60	10	70
小 計					593	929	49	1,571
合 計					795	1,180	96	2,071

令和5年度計（2日間開催、10催事）

(348) (339) — (687)

令和4年度計（1日開催、2催事）

(54) (87) — (141)

平成31年度計（1日開催、13催事）

(1,135) (1,265) (104) (2,504)

2. アンケート集計結果

◎大人用アンケート (回答数 16)

1) イベントをどこで知ったか(選択)

広報ひらつか	9人
博物館 HP	2人
「あなたと博物館」	4人
口コミ	3人
市公式 LINE	3人
博物館 twitter	0人

2) 参加したお子さんの学年

未就学児		10人
小学校	1年	5人
	2年	3人
	3年	1人
	4年	3人
	5年	1人
	6年	2人
合計		25人

3) 参加したきっかけ (選択)

子供が参加したいと言った 9人
大人(親)が参加させたいと思った 11人

4) 参加しやすい形態(選択)

事前申込制 6人 当日整理券・自由参加制 10人

5) 4での回答の理由

事前申込制

- ・計画が立てやすいから。でもどちらでも可能です。
- ・小さい子どもを連れて、当日整理券に並んだりするのが大変なので
- ・たのしみがふくらむ

当日整理券・自由参加制

- ・当日体調をくずしたりしてしまっても予定が調整できる
- ・当日思い立って行けるから
- ・その日の体調不良等で行けなくなると困るので
- ・直前に知るから
- ・時間が読めないのが当日決めてます。
- ・子どもの体調や天候で変わるから
- ・当日に並ぶのがイヤなので

その他

- ・両方ともよさがある

6)感想

- ・平塚に転入したばかりです。子どもと一緒にクイズで平塚のことを知ることができ、良かったです。プラネタリウムも良かった。
- ・案内の方々が皆様本当に親切でとても楽しく学ぶ事が出来ました。ありがとうございます。
- ・子供が体験できる催しが多くとても良かった。また参加したい。
- ・いつも楽しくイベントに参加しています。新しい内容でもまた参加したいです。企画など大変かと思いますがよろしくお願いします。
- ・火起こしに参加できなかったのが残念でした(混んでいたのが)が、子供達は楽しかったようです。特に水ロケットは楽しかったです。
- ・とても有意義な時間でした。学芸員の方がいらしたので、説明が聞けてよかったです。戦争のことも子どもも学びたいと思いました。
- ・2日間、どちらも参加させていただきました。とても楽しく勉強になる内容でした。火起こし体験で待っている間、ユリの木の話をしていただき、とても興味深かったです。待ち時間にそのような話をしていただきありがとうございました。
- ・昨年よりも充実していた気がしました。いつも温かいふんいきでありがたいです。来年も楽しみにしています。丁寧なご準備感謝します。
- ・毎年楽しみにしています。今年は大盛況でしたね！プラネタリウムの整理券が取れないとあきらめていましたが、15:30の回で観ることができてよかったです。
- ・声かけてくださる方がたくさんいて楽しく参加させていただきました。
- ・とても楽しかったです。
- ・たのしかったです。お世話になりました。
- ・たいこの体験の位置が少し高くてだっこが必要だった。
- ・親子で体験出来るので、難しいもの(火起こし)もあったけど、目の前で本物を見せられてすごく楽しかった。
- ・とても楽しんでいました。年長だったので難しさは感じませんでした。
- ・ふり仮名がないので、1つ1つ説明が必要でした。小四でも必要だったので、つけてほしいです。
- ・親と一緒にやったので大丈夫。
- ・幼児も楽しめる内容だったと思います。

◎こども用アンケート (回答数 32)

1)学年

未就学児		5人
小学校	1年	3人
	2年	5人
	3年	4人
	4年	7人
	5年	3人
	6年	1人
合計		28人

2)難易度(選択)

簡単 4人 ふうう 26人 むずかしい 2人

3)参加して楽しかったイベント(選択)

水ロケットを打ち上げよう	22	古代生活体験	8
はくぶつかんクイズ by 展ボラ	21	おはやし演奏と体験	5
プラネタリウム こどもフェスタスペシャル	14	古生物ペーパークラフトづくり	4
太陽黒点を見よう	14	博物館ぶたいうらたんけんツアー	3
火起こし体験	13	むかしの子ども遊び	2
鳥かおパズルでクイズ	11	特にない	2
パズルで古道を行ってみよう	9		

4)今後体験してみたいこと

- ・親子で石を見るとか、大磯の有名な石の(名前が思い出せません)
- ・小学生からのイベントが多いので年長も
- ・こうさく
- ・サンプルを作る
- ・昔の道具をさわったり使ってみたい。
- ・パズル古道おもしろい。ロケットちよとこわかった。とんだらおもしろかった。どれもおもしろかった。
- ・むかしの人がつかっていた道具(ナイフやけん)を見てみたいです！古代が好きなので！♡
- ・じっけんしたい。
- ・プラネタリウムの星を出してみたいです。またやってほしいです。
- ・サンリオのこうさくをやりたいです。
- ・虫とり
- ・虫が好きなので、昆虫の観さつ会をやってほしいです。
- ・まがたま作り。
- ・土器づくり(焼くまで)、昔の人のくらしのたいけん。
- ・きょうりゅうのほねをさわる。
- ・恐竜の化石をさわる。
- ・火おこしをやってみたかったです。
- ・鳥さがし。

●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表 1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681	30,783	352,484
2023	26,548	36,108	27,282	31,296	36,062	30,517	37,744	25,131	20,710	25,642	22,100	24,558	343,698
2024	26,658	28,746	25,337										80,741

※（斜体はデータ消失のため、該当データを除く 2015～22 の平均値で補完）

6月末現在

表 2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2018年3月まで 66,450）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805	6,710	89,583
2023	9,125	13,648	8,915	7,772	7,719	6,317	6,702	3,824	3,058	4,392	3,714	4,623	79,809
2024	5,056	5,849	5,894										16,799

開始（2011/1/9）から 2024 年 6 月末までの累計 403,906

表 3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2018年3月まで 49）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45	32	17	51	40	56	695
2023	75	120	61	26	24	35	44	24	10	30	30	38	517
2024	35	32	30										97

開始（2011/1/9）から 2024 年 6 月末までの累計 2,581 人

表 4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

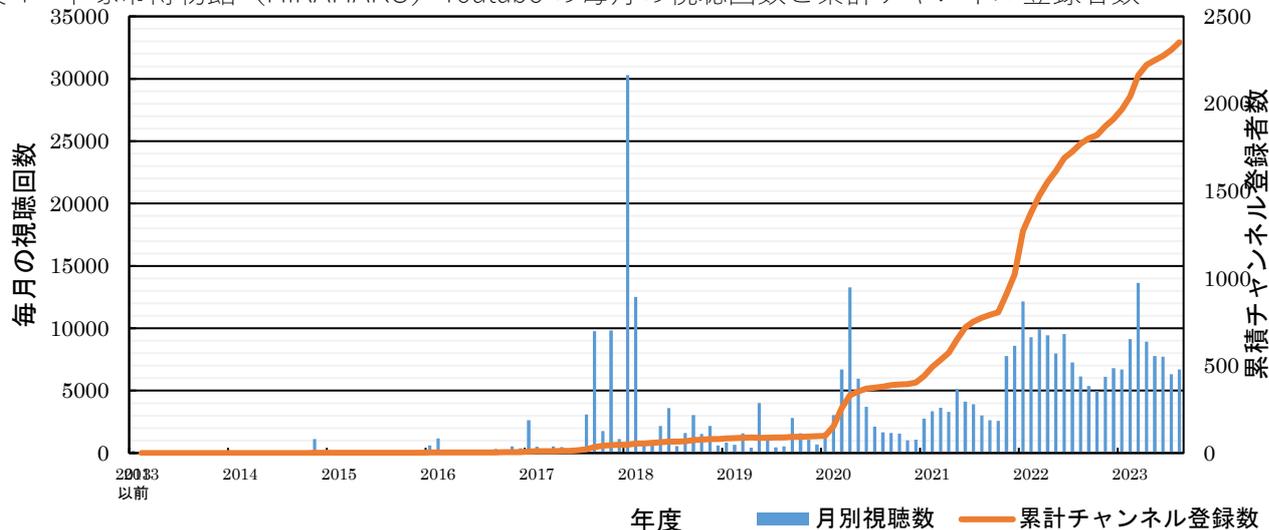
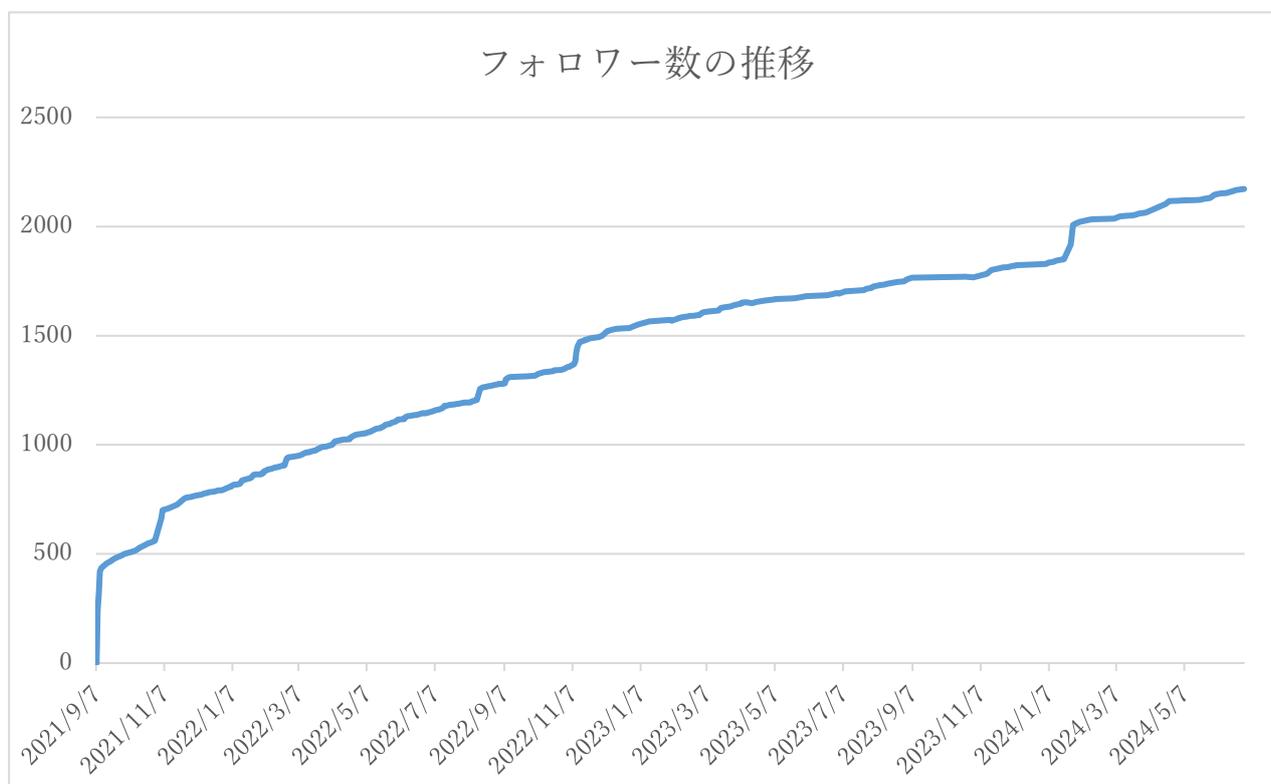


表5 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング

タイトル	公開日	R5 年度 再生回数	前回 順位	R3.3 からの 通算再生回 数	通算 順位
1 5分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	7,339	1	11,338	2
2 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	5,886	2	36,647	1
3 【反省会】2023 年度夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ! ~カラフルな考古資料たち~」	2023/8/31	3,490	3	3,511	12
4 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	2,817	4	8,123	5
5 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	2,342	6	6,498	7
6 2019 年 5 月 25 日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/16	2,333	5	8,162	4
7 5分でわかる平塚学入門「戦後復興と復興まつり」	2022/3/11	2,059	6	3,614	11
8 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	2,001	7	5,430	8
9 5分でわかる平塚学入門「関東大震災と平塚」	2022/8/26	1,715	9	2,454	17
10 【モノづくりエイター】老眼鏡で月面クレーター観察	2021/9/8	1,653	10	2,172	23
5分でわかる平塚学入門「フォッサマグナと平塚」	2022/7/22	1,505	—	2,617	24
おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	1,486	—	11,124	3
鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	267	—	7,564	6
鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	216	—	4,827	9
5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/3/26	906	—	3,831	10

表6 平塚市博物館 (HIRAHAKU_) X (旧 Twitter)

2021/9/7 新規開設。令和6年度は6月末現在205ポスト発信。フォロワー数2,172人。



平塚市（公式）LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週 1 回投稿で、令和 5 年度は 5 0 回の投稿を行った。運用開始からの総投稿数は 142 回。登録者数 22,486 人（17,306 人）

「ひらはく展示+」運用統計

年月	期間日数	アクセス数			
		ユーザー	イベント数	新規ユーザー	日平均/回
2023 年度	226	938	4,481	883	19.59
2024 年 4 月	13	112	599	100	19.97
2024 年 5 月	30	123	676	108	21.81
2024 年 6 月	30	111	697	98	23.23

※ 2023 年 7 月から本格運用を開始したが、サーバーエラーのため 7 月と 8 月でデータ欠測

展 示

夏期特別展「標本で！植物観察」では、博物館が所蔵する植物標本でじっくり観察する、をテーマに身近にみられる植物を紹介します。秋期特別展では、市内各地域の講で回されていた道具や地蔵・不動などの巡行仏を紹介し、「第24回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展では、平塚にゆかりの社会や文化の発展に寄与した近代の女性たちを平塚人物史研究会との協働で紹介し。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による展示などを開催します。

特別展	春期特別展 「ひらつかの古道をゆく」(人文合同)	2024 3月 20日 ~ 5月 19日
	夏期特別展 「標本で！植物観察」	2024 7月 20日 ~ 9月 4日
	秋期特別展 「(仮)家を廻るお地蔵さん」(民俗)	2024 10月 19日 ~ 12月 22日
	第24回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2025 2月 7日 ~ 2月 27日
	春期特別展 「(仮)近代ひらつかの女性たち」(歴史)	2025 3月 20日 ~ 5月 18日
寄贈品 コーナー	天文 「流星の故郷を探して～シチズンサイエンス～」	2024 3月 1日 ~ 4月 7日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-」	4月 11日 ~ 5月 12日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-」	5月 16日 ~ 6月 30日
	歴史 「平塚空襲」展	7月 4日 ~ 8月 18日
	考古 「砂丘の縄文時代」	8月 22日 ~ 9月 29日
	「令和6年度 平塚市指定重要文化財展」(教育委員会社会教育課)	10月 4日 ~ 11月 4日
	地質 「(仮)鉱物」展	11月 9日 ~ 12月 15日
	天文 「(仮)火星接近」	12月 19日 ~ 2月 2日
	生物 「みんなで調べよう「平塚のカマキリ」結果報告！」	2025 2月 7日 ~ 4月 6日
情報 コーナー	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡～プラネタリウムの仕組み編～」	2024 1月 18日 ~ 4月 7日
	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡～プラネタリウムの歴史編～」	4月 12日 ~ 6月 2日
	地質 ミニ恐竜展in 平塚市博物館 アロサウルス襲来！	6月 20日 ~ 9月 1日
	博物館実習展示	9月 13日 ~ 9月 25日
	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡～県内プラネタリウムの歴史編～」	9月 28日 ~ 11月 17日
	生物 「中勘助と鳥、の物語」	11月 23日 ~ 1月 13日
	民俗 ポスト特別展「(仮)家を廻るお地蔵さん」	2025 1月 18日 ~ 終期 未定

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に、1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は予約制で水・木・金曜日の午前に実施します。特別投影の星空音楽館はコロナ禍の中止を経ての復活です。

一般投影	一般向け投影 見えないブラックホールを見る	2024 3月 2日 ~ 5月 5日
	一般向け投影 月を詠み星を綴る～王朝文学に刻まれた月と星～	5月 11日 ~ 7月 14日
	一般向け投影 銀河鉄道に乗って	7月 20日 ~ 9月 1日
	一般向け投影 リフトオフ！～ロケット打ち上げを見よう～	9月 7日 ~ 10月 27日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム	11月 2日 ~ 12月 1日
	一般向け投影 2025年の天文現象	12月 7日 ~ 1月 26日
	一般向け投影 VTuber 星見まどかと探る太陽系の衛星のヒミツ	2025 2月 1日 ~ 4月 6日
	幼児向け投影 やどかりくん まんげつのひみつきち	2024 4月 6日 ~ 8月 31日
	幼児向け投影 すいせいゴエモンのぼうけん	9月 7日 ~ 12月 28日
	幼児向け投影 未定	2025 1月 4日 ~ 3月 29日
特別投影	星空散歩 (偶数月、月初の土または日、6回)	2024 4月 ~ 2月
	「ひらはくオールスターズ」(5・9・1月の月初の土または日、3回)	5月 5日 ~ 1月
	星空タイムトラベル	6月・10月
	星空音楽館 (4回)	2024 5月 ~ 1月
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (雑貨団、1回)	未定
	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

申込制 行事	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」	2024 4月 28日
		体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」	8月 4日
		考古学入門講座（3回）	9月～12月
	歴史	郷土史入門講座（3回程度）	2025 1月～3月
	民俗	石仏めぐり	2024 11月 3日
		体験学習「お飾りをつくろう」	12月 21日
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(3回)	9月～1月
		体験学習「化石レプリカをつくろう」	8月 14日
		地球科学入門講座	2025 1月～3月
	生物	自然教室（6回）	2024 4月～3月
		体験学習「手羽先骨格標本をつくろう」	7月 31日
		キノコの観察会	10月
	天文	星を見る会（10回）	4月～3月
		天文学入門講座「銀河の世界」、「彗星の科学」各4回	2024 4月 13日～12月 15日
		最新天文学講座（2回）	未定
プラネタリウムを操作してみよう		8月 18日	
総合	こどもフェスタ	4月 27日・4月 28日	
	平塚学講座	10月～12月	

自由参加	民俗	ろばたばなし	月1回 日曜日
		「館長の民俗学入門」講座	5月～2月
		学芸員が語る「相模の家のくらし」	ろばたばなしと同日
	地質	化石ペーパークラフトをつくろう	7月 20日・8月 20日
	天文	体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」(4回)	8月 2日
		太陽を見る会	8月 10日・24日

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ（野外6回、室内5回）	毎月1回_土or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1～2回土・日曜日
		流星観察会	毎月1～2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	定例会、毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2024 6月 4日～6月 14日
博物館実習	2024 9月 4日～9月 12日